

消費者トラブル注意

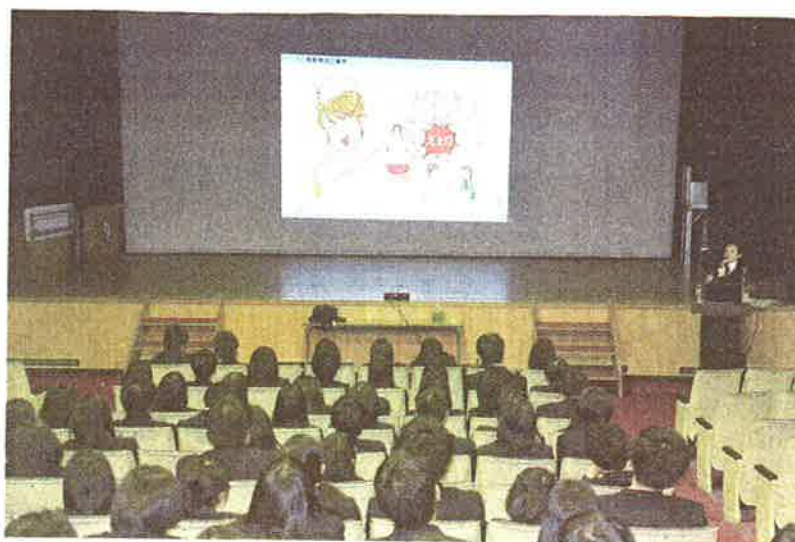
司法書士が3年生に助言

室蘭・海星学院高

札幌司法書士会主催の法律教室が18日、室蘭・海星学院高校(香川謙二校長、232人)で開かれた。3月に卒業し親元から自立する3年生68人を対象に、消費者トラブル・労働問題への注意喚起や被害を未然に防ぐために助言した。

講師は同会所属の清水思都子さん。内容は契約、クレジットやキャッシングなどの借入れ、悪質商法、労働契約などについて。悪質商法については、キャッシュセールスやデイト商法、ネットワークビジネス、インターネットショッピングに関する事例を紹介した。このうちキャッシュセールスでは「無料のお試しやプレゼントをうたって店内に誘導し、その後は高価な商品をしつこく勧めてくる。長時間の説得で嫌々ながら

契約してしまつケースが多い」と傾向を述べた。卒業後は札幌の専門学校に進学し、1人暮らしをする高橋茜さんは「街での言葉巧みな声掛けや、お金の貸し借りには気を付けた」と気を引き締めていた。
(成田真梨子)



悪質商法の手口や事例などに理解を深めた生徒たち